

(一社)九州観光推進機構 活動レポート

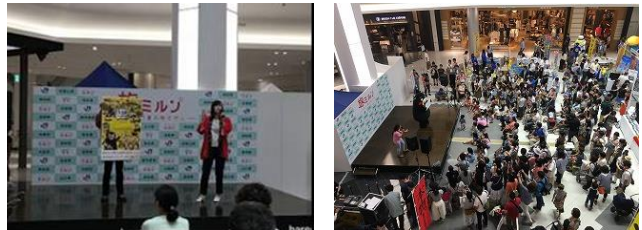
— 2016年8月号 —

7月のトピックス

○ 「旅ミルン」への参加 (7月2、3日:岡山市)

イオンモール岡山で開催されたJR西日本主催のイベント「JRで行く!夏の旅さがし 旅ミルン」に出展しました。会場では、「九州ふっこう割」の告知や九州各県の観光PRを行ったほか、ガラポン抽選会(クイズ)を行い、九州をPRしました。

会場のイオンモールには、2日間で約13万人が来場され、多くの方にPRをすることができました。



○ 韓国ソウル・釜山における九州観光説明会・商談会 (7月6日:韓国・ソウル、8日:韓国・釜山)

韓国の旅行会社、マスコミ等に対し、熊本地震後の九州観光の現状を伝え、九州の魅力ある観光素材のPRを行うとともに、九州の自治体、宿泊施設、観光施設等と、韓国側の旅行会社、ランド会社等と現地旅行会社等の商談会を開催しました。

「Visit Kyushu Special Campaign」を順次販売しているタイミングでの開催となったため、韓国側の旅行関係者から各県や各県観光連盟等への問い合わせも多く、活発な商談ができる場となりました。

●参加者(速報値)

ソウル会場: 日本側48団体 韓国側107社180名

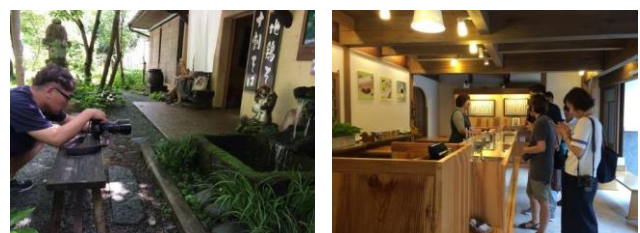
釜山会場: 日本側45団体 韓国側64社106名



○ 韓国におけるFITによる九州滞在型観光促進のための招請及び情報発信(新聞社、雑誌社) (7月8~11日:福岡県、大分県、熊本県)

30代を中心とする女性やファミリー層を主なターゲットとして、熊本地震の発生を受けた風評被害の回避と震災の影響からの復興を図ることを目的として、新聞社及び雑誌社を招請しました。

天ヶ瀬温泉などの温泉や、黒川そば街道でのそばなどの食、久留米での酒造見学、九州オルレオコース見学など九州各地の多彩な魅力をレンタカーやゆふいんの森号を利用して楽しむ旅行を取材してもらいました。



○ 在京ランド社を対象とした九州観光商談会（7月11日：東京）

在京ランドオペレーター（ランド社）と九州各県の観光・宿泊施設及び交通事業者等との連携強化を図るため、九州観光商談会を開催しました。ランド社側46社92名、九州側62社109名と、過去最高の参加者数となり、各テーブルで熱心に商談が行われました。商談会後の意見交換会にも多くの方々に参加いただきました。

ランド社の皆様、九州側の双方から参加希望の多い事業であり、来年度も引き続き実施を検討したいと思います。



○ タイにおける国際旅行博出展（TITF #19）（7月14～17日：タイ・バンコク）

タイのバンコクにおいて開催された国際旅行博にブース出展し、熊本地震後の九州観光の現状を伝えるとともに、元気で魅力のある九州のPRを行いました。



また、併催された現地旅行会社向けセミナー・商談会の冒頭に、九州観光プレゼンテーションを行い、九州への来訪のお願いをしました。JNTOが実施した、当日の来場客への意向調査では、北海道・関西に続き九州が、東京を抜いて興味を持たれている事が分かりました。

今後も継続してPRをしていきたいと思ひます。

●参加者（速報値）

旅行博ブース出展数：日本側44団体（JNTOを含む）

セミナー商談会参加者：日本側38団体103名

タイ側71社 97名

○ 九州ふっこう割プロモーション

（7月16、17日：名古屋、17、18日：大阪、22、23日：福岡、23、24日：東京）

JR4社（東海、西日本、四国、九州）とタイアップし、7月1日より実施している九州観光復興キャンペーンに合わせたイベントを開催しました。

7月16、17日にJR名古屋駅、17日、18日にJR大阪駅、22日、23日にJR博多駅、23日、24日にJR東京駅で「九州ふっこう割」の告知を行うとともに、九州の観光パンフレットや九州ふっこう割利用の旅行商品のサンプリングを行いました。

また、会場によってはステージイベントや物販等を行い、多くの方への告知を行いました。

その他、駅や車内等のJR各社の媒体を使用した「九州ふっこう割」の告知は、現在も各都市圏で展開しています。



○ 福岡県商工会議所連合会、ぐるなびとの包括連携協定に基づく、飲食店向け外国人受入環境整備セミナーの実施（7月25日：久留米市）

福岡県商工会議所連合会、株式会社ぐるなびとの「地域共同事業に関する包括連携協定」に基づき、久留米商工会議所において飲食店向け外国人受入環境整備セミナーを実施しました。



当日は、久留米市周辺から飲食店経営者等

約30名の参加をいただきました。冒頭で当機構高橋事業本部長からインバウンドの動向を説明した後、久留米市から外国人旅行者客受入れ観光整備補助金について説明があり、その後、ぐるなびによるインバウンド対策の成功例や飲食店向けサイトの紹介がありました。

参加者はインバウンド対策の新しい方法に触れ、改めてその重要性を感じているようでした。

○ 韓国におけるF I Tによる九州滞在型観光促進のための招請及び情報発信（新聞社）

（7月27～29日：福岡県、佐賀県）

30代を中心とする女性やファミリー層を主なターゲットとして、熊本地震の発生を受けた風評被害の回避と震災の影響からの復興を図ることを目的として、新聞社及び雑誌社を招請しました。

唐津市の鮎処つく田をはじめ、ミシュランガイド掲載の食事処での食、武雄市の竹あかりやプロジェクションマッピングで彩る佐賀県内のナイトスポットなど九州各地の多彩な魅力をレンタカーを利用して楽しむ旅行の取材をしてもらいました。



○ 子ども霞が関見学デー「九州へ行こう！」ブースの出展（7月27～28日：東京）

夏休み子どもたちとその保護者を対象に霞が関の府省庁が連携して実施する「子ども霞が関見学デー」に観光庁のスペースを利用して九州PRブースを出展しました。

より多く子どもたちとその保護者に九州に興味を持ち、理解し、行きたいと思ってもらうきっかけ作り場として、九州クイズや九州各県のご当地キャラクターとの記念撮影コーナーを設け、九州の観光PR及び「九州ふっこう割」のPRを行いました。2日間で約2,200名の来場があり、子どもたちから沢山の『九州へ行きたい!』と笑顔頂きました。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 人事往来

7月に事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお願い申し上げます。

【転入者】 []内は派遣元

企画部九州観光広報センター次長 大石 邦嗣 [西日本電信電話株]

○ 九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」を掲載(8/15)

「九州の外国人入国者数の推移について～平成28年6月(速報値)、平成28年5月(確定値)」を掲載しました。ぜひご活用ください。

なお、会員向け情報ページを閲覧するには、IDとパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○ 8月以降の主な事業

- ・タイ市場における九州の魅力情報発信事業(8月から11月:九州7県)
- ・ASEAN旅行会社招請事業(8月から11月:九州7県)
- ・台湾における九州観光説明会・商談会(8月2日:台北、8月3日:高雄)
- ・九州7県合同修学旅行説明会(8月4日:静岡、5日:名古屋、18日:東京、19日:大阪)
- ・ASEAN5カ国における九州観光説明会・商談会事業(8月9日:マニラ、11日:バンコク)
- ・タイ市場におけるFIT向け情報発信事業(JR九州連携事業)
(8月下旬:佐賀県・熊本県・鹿児島県)
- ・タイにおける二次交通情報等発信事業(8月下旬～2月:九州7県)
- ・韓国におけるFITによる九州滞在型観光促進のための招請及び情報発信事業(ブロガー、記者)
(8月22～25日:大分県、熊本県)
- ・空港での九州ふっこう割プロモーション
(8月25日:羽田空港 9月1～2日:伊丹空港、9月7～8日:中部国際空港)
- ・『空行け!九州』航空プロモーション(8月26日:羽田空港)
- ・欧州市場における「南日本ゴールドデンルート」構築事業
(9月13～20日:大阪、岡山、広島、福岡、大分、熊本、佐賀)
- ・ビジット・ジャパン・トラベル・マート2016出展(9月21日～23日:東京)
- ・日韓交流おまつり 2016 in 東京 ブース出展(9月24～25日:東京)
- ・ASEAN5カ国における九州観光説明会・商談会事業
(10月3日:ジャカルタ、5日:クアラルンプール、7日:シンガポール)
- ・第10回九州観光・物産フェア(10月8～10日:東京)

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 柴田、弓削

TEL:092-751-2943 (代表)

092-751-2946 (国内誘致推進部ダイヤル)

092-751-2947 (海外誘致推進部ダイヤル)

092-751-2951 (九州観光広報センター準備室ダイヤル)

FAX:092-751-2944

E-mail: infokyushu@welcomekyushu.jp